

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 29. 6. 9 第 193 回国会第 28 号

6 月 9 日（金）、第 28 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

・塩崎厚生労働大臣、橋本厚生労働副大臣、樋口文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

阿部知子君（民進）

- ・無痛分娩における医療事故について、関係医会に調査を任せるのではなく、厚生労働省が率先して実態把握に努めるべきではないか。
- ・産科医療補償制度の再発防止委員会がまとめた報告書の提言が現場において適切に遵守されているか、調査を行うべきではないか。
- ・政府は「子育て安心プラン」を発表し、保育所等の整備を引き続き進めていくとしているが、同時に、保育士確保の観点から、その働き方や労働環境の見直しに取り組んでいくべきではないか。

岡本充功君（民進）

- ・いわゆる赤ちゃんポストを設置する病院において子どもの受入れ体制が整っている場合には、刑法の保護責任者遺棄罪の成立が認められにくい措置と解されると考えて良いか。
- ・いわゆる赤ちゃんポストの長所・短所を検証し、懸念が克服できるのであれば全国的に広げていくなど、国としてのスタンスを明らかにするべきではないか。

高鳥修一君（自民）

- ・今国会提出の精神保健福祉法改正案で新設される同法第 2 条第 2 項の趣旨は、医療の役割は患者の治療・健康維持推進を図ることであり犯罪防止は直接的役割ではないことを明確にするものであることを確認したい。
- ・地方自治体において障害者の退院後支援が継続的に実施されるよう、人員確保のための予算を充実させることが必要ではないか。
- ・相模原市の障害者施設における事件があり、障害者やその家族の不安や恐怖は計り知れないと考えるが、橋本厚生労働副大臣に障害者の生命を守る決意を伺いたい。

伊佐進一君（公明）

- ・保育士の登録をしている者が幼稚園教諭免許状の授与を受けるために修得することが必要な単位数を軽減する特例措置を延長すべきではないか。
- ・ヘルプマークが日本工業規格（J I S）に登録されることを踏まえ、厚生労働省としてもヘルプマークの普及啓発を推進していくべきではないか。
- ・第 3 期がん対策推進基本計画の策定に際し、一般病院においても緩和ケアが十分提供できるよう、一般病院の医師に対しても緩和ケア研修を推進していくべきではないか。

堀内照文君（共産）

- ・後期高齢者医療制度の保険料軽減判定誤りにより、被保険者に保険料の重い追加徴収が課されることについて、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・事業主が従業員から年金保険料を徴収しながら、賞与の届出を適切に行わず、納付を行わない事例をどのように防ぐのか伺いたい。
- ・労災保険における中皮腫の通院費の支給要件を伺いたい。

河野正美君（維新）

- ・今国会において受動喫煙防止対策を強化する健康増進法改正案の提出に至らなかった理由、受動喫煙防止対策に係る閉会後の見通し及び今後に向けた決意を厚生労働大臣に伺いたい。
- ・医師の長時間労働についての厚生労働大臣の考えを伺いたい。
- ・国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける作業員の被ばく事故について、政府として把握している事実関係及びそれに対する認識を伺いたい。

初 鹿 明 博君（民進）

- ・インターネット上で処方箋なしで医薬品を購入できる旨を大々的に宣伝することは問題であり、このような広告は規制すべきではないか。
- ・生活保護受給者が福祉事務所の職員の過失により過支給された生活保護費について返還を求められ、その処分取消しを求めた裁判で原告勝訴の判決が出たが、厚生労働大臣の所感を伺いたい。
- ・福祉事務所の職員の過失による生活保護費の過支給を防ぐため、被保護者に児童扶養手当を渡すのではなく地方自治体の代理受領等の手段による支給額の平準化を検討すべきではないか。